

## 新たな小学校への歴史の継承について

第1回の協議会において、デジタル保存や卒業生への返却等の具体的な手法についてワークショップ形式で議論しました。

本日の協議会では、前回の議論を踏まえて三校長と事務局で整理した物品の継承方法を共有するとともに、各校の外観・内観の様子や様々な物品をデジタル保存するにあたっての具体的な内容を検討します。

なお、町田第三小学校については、2028年度の統合へ向け、2027年度中に具体的な継承作業を行います。大まかな方針については三校共通の考え方で進めて行くため、本日決定した方向で進めて行く予定です。

### 1 第1回ワークショップでのご意見

#### 【デジタル保存】

- デジタルで保存するのは便利だが、デジタルに不慣れな方が見られるような対策も必要。
- デジタル保存したものを、学校に行けば見ることができるような方法を検討するといいいのではないか。

#### 【卒業生への返却】

- 閉校イベントに絡めて、返却の希望者を募ってもいいのではないか。
- 返却時の破損のリスク等を考慮すると、返却はせずデジタル保存をした方がいいのではないか。

#### 【施設配置を考慮したうえで継承方法を検討】

- メモリアルルームについては、長い目で見ると使わないスペースとなる可能性がある。
- メモリアルルームのような形式ではなく、廊下等に掲示するなど、昔を感じることができるような展示ができるといいと思う。

## 2 物品の継承方法について

第1回協議会でのご意見を踏まえて三校長と事務局で協議し、デジタル保存の内容、物品の展示について以下のとおり整理しました。

### (1) デジタル保存の内容について

校舎の外観及び内観や物品等については、デジタル技術を活用して、以下の内容で保存し、視聴等ができるようにします。

- ① 校舎内外の様子を、360度カメラでデジタル保存し、VR ツアーができるようにする。
- ② 校舎内外をドローンで撮影し、動画を作成する。
- ③ 物品等を写真で保存する。
- ④ 上記①～③で保存した映像は、新たな学校のホームページ等からいつでも視聴できるようにする。

### (2) 新たな学校における物品の展示について

校旗や開校当時の写真といった、学校が歩んできた歴史が感じられる物品については、学校の判断によって現物を保存します。

また、現物保存する物品の展示場所について、新たな学校の壁面等のスペースを有効活用し、児童や来校者が常時閲覧可能な場所での展示を想定しています。詳細は、新校舎の設計を踏まえて判断します。



ショーケースによる展示の事例（中野区立令和小学校）

### (3) その他

前回推進協議会でご意見のあった「卒業生への返却」については、引き続き三校長と事務局で協議し、整理できた段階でご報告します。

### 3 検討スケジュール

今後の検討スケジュールは以下のとおりです。

年度 月	2023年度				2024年度			
	12月	1月	2月	3月	上旬	中旬	下旬	
町三小	継承 方法 検討の 整理	継承に向けた準備 (物品の整理等)			継承に向けた準備 (物品の整理等)			
本東小					校舎デジタル保存			お披露目
本小					郷土資料室の物品の整理	校舎デジタル保存	閉校記念誌調整	

### 4 本日のワークショップについて

デジタル保存を行うにあたって、撮影すべき場所や物品について、ワークショップ形式でご意見を伺います。

今回頂いたご意見や、学校からのご意見などをもとに、三校長と市教委における協議によって、撮影箇所や撮影方法を決定します。

#### ワークショップでの検討事項

- 記録しておきたい場所・物品を学校別に検討します。
- 記録方法の詳細な手法についても、例えば、「通常の写真で撮るべき」、「この場所は VR で見られるようにするべき」などのご意見があればお聞かせください。